

# News Release

各位

2018年 8月6日  
株式会社日立国際電気

## **「公共ブロードバンド移動通信システムの開発と実用化」で 第 29 回 電波功績賞「一般社団法人電波産業会会長表彰」を受賞**

株式会社日立国際電気(代表取締役 社長執行役員:佐久間 嘉一郎/以下、当社)は、このたび、国立大学法人京都大学および国立研究開発法人情報通信研究機構と共同で、「公共ブロードバンド移動通信システムの開発と実用化」で、第 29 回電波功績賞「一般社団法人電波産業会会長表彰」を受賞しました。

電波功績賞は、一般社団法人電波産業会(以下、ARIB)が、電波の有効かつ適正な利用に特別の功績を挙げた個人・団体を表彰するものです。今回の受賞理由は、次のとおりです。『VHF 帯地上アナログテレビジョン放送の空き周波数帯を活用した公共ブロードバンド移動通信システムの研究開発を進め、VHF 帯特有の伝搬特性に対応可能で移動時にもリアルタイム映像伝送可能な無線通信技術を開発するとともに、ARIB 標準(STD-T103)およびIEEE 標準(802.16n)の規格化にも積極的に貢献し、システムを実用化するなど、電波の有効利用に大きく貢献した。』(ARIB WEB サイトより引用)

今回の受賞代表者は、京都大学 大学院 情報学研究科 原田博司教授、日立国際電気 ソリューション統括本部 技術総括 加藤数衛、情報通信研究機構 ワイヤレスネットワーク研究センター 大堂雅之主任研究員の 3 氏です。

わが国は、地震や津波などによる大規模災害に加え、台風や豪雨など、世界的にも有数の災害多発地域の地勢にあります。このような災害への備えとして、災害現場などのリアルタイム映像伝送を可能とする通信手段が求められていました。公共ブロードバンド移動通信システムの実用化は、このようなニーズに応えるものです。いつでも、どこでも利用できる映像伝送可能な自営通信システムである「公共ブロードバンド移動通信システム」の活用により、効果的かつ安全な防災・減災活動が可能になります。

当社は、今後も電波利用による安心・安全な社会の実現と、電波資源の有効利用に資する取り組みに貢献してまいります。



【表彰式】後列右から大堂氏、加藤氏、原田氏



【表彰状】

■お問い合わせ先

株式会社 日立国際電気 事業企画本部 事業戦略部 [担当:佐々木、西野]  
〒187-8511 東京都小平市御幸町32  
電話 050-3383-3651(直通)

以上